

## 2 コミュニティ住区を基礎とした整備

### 1 大沢住区

#### 1) 基本的な考え方

大沢住区は、河川軸である野川や国分寺崖線の緑を軸に、残された貴重な自然環境の保全や文化遺産の保存と活用を図る「大沢の里」の整備を推進するとともに、豊かな地形や緑を活かした景観づくりを推進します。

また、野川や国立天文台、国際基督教大学等にみられる豊かな緑や水の自然環境を活かして、うるおいのある快適な空間が維持されるよう緑と水の保全及び創出を図り、低層市街地として良好な住環境を保全するとともに、防犯にも配慮したまちづくりを推進します。あわせて、比較的起伏の多い地域においては、急傾斜地のバリアフリー化への取り組みも推進します。

土地利用の観点からは、大学が多い地域については、文教研究施設としての環境を保持し、住宅と工業・業務施設が混在している地域は、周辺環境との調和を図りながら、都市型産業、地場産業等の保護・育成を行う他、幹線道路である天文台通り等の都市計画道路の整備を推進します。

調布飛行場周辺の地域においては、武蔵野の森公園の防災の拠点としての環境整備を図ります。

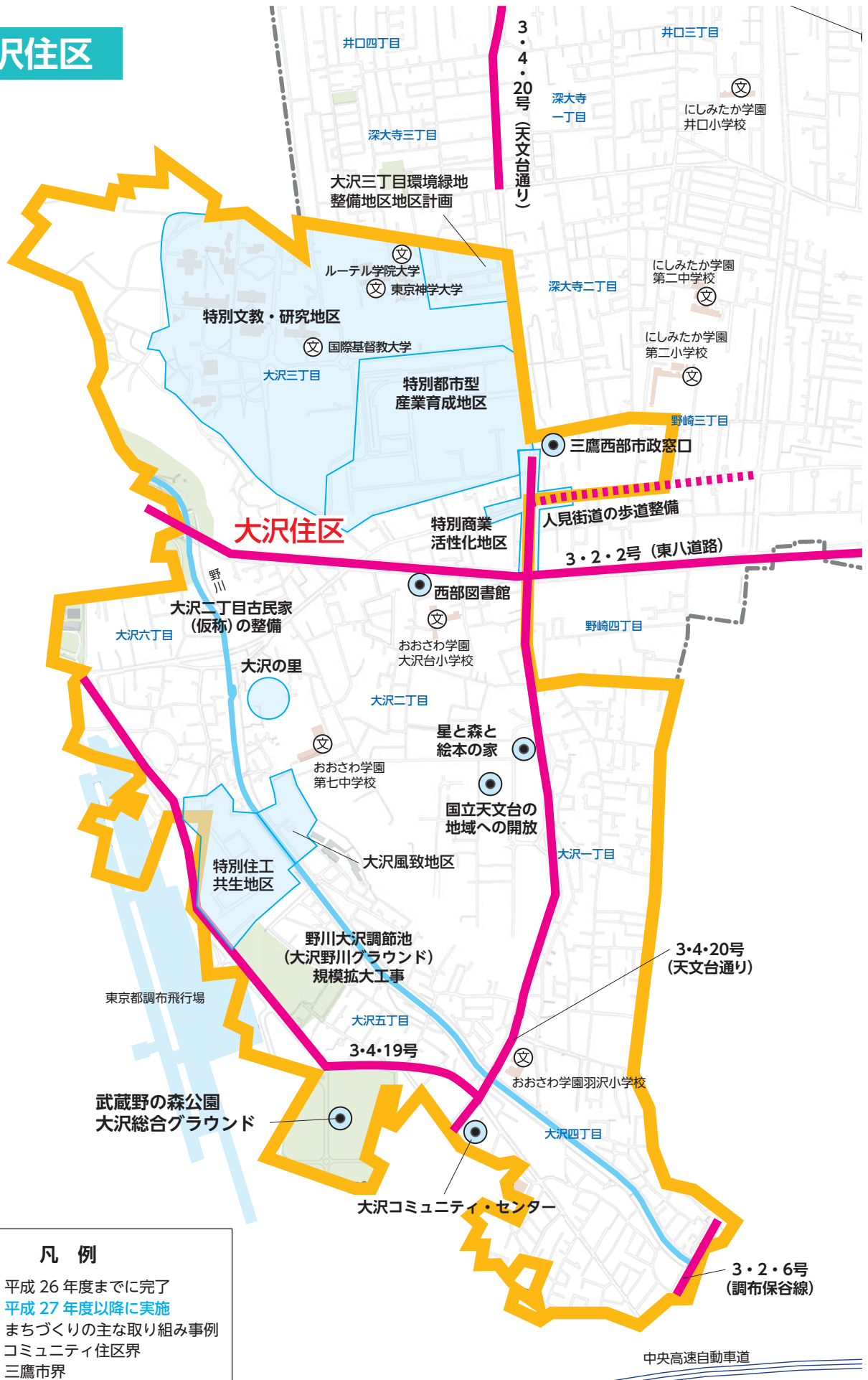
#### 2) 主な事業の方向

- 1 小・中学校やコミュニティ・センターなどを防災拠点としての充実を図ります。また、都立武蔵野の森公園周辺については、大沢総合グラウンドエリアとして、文化・教育・健康の拠点となるようまちづくりを進めます。
- 2 道路整備については、都市計画道路 3・2・6号（調布保谷線）の調布・三鷹区間の整備が一部を除き完了しました。人見街道の歩道整備について、引き続き東京都に要請していきます。
- 3 野川周辺については、緑と水の回遊ルートの拠点である大沢の里を中心に、国分寺崖線の樹林や湧水、河川の水辺空間など自然環境の保全を図るとともに、大沢二丁目古民家（仮称）の整備を行い、大沢の里水車経営農家とともに大沢の里周辺を三鷹型エコミュージアム事業のモデル事業として推進します。また、重点的に景観づくりを行う区域として、整備・誘導のあり方等について検討していきます。
- 4 国際基督教大学の緑地等をまちの貴重な資源として、良好な環境が保たれ、市民に親しまれる文化・教育・健康の拠点となるよう関係機関と協力した保全に努めます。また、国立天文台の良好な自然環境を保全する中で、敷地内に開設した「星と森と絵本の家」の特色ある運営の展開を図ります。
- 5 大学等が立地する地域については、特別文教・研究地区として研究環境の保持に努めるとともに、住宅と工業・業務施設が混在する地域については、周辺環境との調和を図りながら都市型産業・地場産業等の保護育成を図ります。
- 6 バリアフリーのまちづくり基本構想 2022（第1次改定）の重点整備路線である都道（人見街道、天文台通り、東八道路）については、安全で快適な歩行者空間が整備されるよう都に要請します。また、傾斜地が比較的多いことから、傾斜地のバリアフリー化への取り組みを推進します。



野川

# 1 大沢住区



凡例	
	平成 26 年度までに完了
	平成 27 年度以降に実施
	まちづくりの主な取り組み事例
	コミュニティ住区界
	三鷹市界
	学校

※まちづくりの主な取り組み事例の範囲等は、おおよそのイメージです。